

平成24年4月5日

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（平成23年度第4回）

議事要旨

- 1 日時：平成24年3月28日（水）14：00-16：00
- 2 場所：独立行政法人国際交流基金 第1セミナー室（9階）
- 3 出席者：
 - （1）委員（敬称略）
碓井光明委員長、宮本和之委員、渡邊一弘委員
（オブザーバー：渡辺政宏監事）
 - （2）外務省
米谷文化交流課長、若杉文化交流課予算班長
 - （3）国際交流基金
安藤理事長、田口理事、柳澤総務部長、下山経理部長、福田監査室長、
正野会計課長、審議案件担当者
- 4 主要議事：
 - （1）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
 - （2）個別案件の審議
 - （3）来年度以降の開催について（討議）
- 5 主要議事概要：
 - （1）再委託案件及び一者応札案件について（報告）
今次委員会の検討対象となる契約について、再委託及び一者応札・一者
応募の状況について報告した。
 - （2）個別案件の審議
 - ア 『日本アニメ・フェスティバル in 北京』実施業務委託契約
委員：経済産業省が類似の業務を同じ相手方に委託しているが、まとめて契
約を結ぶなどすれば全体として廉価に抑えることができたのではないかと
基金：実施を決定した時期が異なり、同時の発注が可能ではなかった。
委員：広い意味の政府部門と、共通の事項について契約を締結する場合、ど
のような協力ができるか（効率化、価格交渉等）については、可能な範囲

で検討してみても良いのではないか。

イ NHKインターナショナル・ライブラリー番組国際版の提供に関する契約

委員：なぜ単価契約なのか。ある程度総数を示して総価で契約を締結したほうが廉価になるのではないか。

基金：各国のテレビ局にニーズを調査する等の手順を取った後での発注であり、最初から番組ごとの総数を示すことが困難であるため、単価契約としている。また、契約締結時に交渉して、前回契約時よりも単価を引き下げるなどの対応を取っている。

ウ 『東北民俗芸能、鬼太鼓座と仲間たち世界巡回公演』渡航契約

委員：一者応札となった要因として、入札実施までの期間が短いことと仕様の汎用性が低いことが挙げられているが、期間が短いのであれば仕様の汎用性を高める等の対応を取ることができたのではないか。

基金：本事業は補正予算で急遽決まった案件ということもあり、出演者の日程調整と同時に進める必要があることなどから、このような仕様にならざるを得なかった。

エ 日本語国際センター食堂什器備品の購入契約

委員：Aランクの業者しか納入できない製品が含まれていたとのことだが、一度に入札にかけるのではなく、少しずつにわけて調達することはできなかったのか。

基金：すべての備品が、センター設立以来交換されていないことや、今年度は節電の要請もあったことから、消費電力も少ない新しい製品に一度に交換することが合理的と考えた。

委員：Aランクの業者しか納品できない製品については、以前からそのような業界の状況であったと考えられるが、これについてはある程度事前に分かっていたのではないか。何社ぐらい入札に参加すると想定していたか。

基金：大手2社の製品に限られることは分かっていたが、その取引先は多数あると考えた。入札には2~3社が応じると考えていたところ、説明会には2社が参加し、想定範囲内であったが、そのうち1社が後日、該当する製品を納入できないことが分かった。

委員：競争参加資格を、単に予定価格からだけでなく、調達内容の性質や業界の事情を事前に考慮して柔軟に運用することが必要ではないか。

オ 本部及び日本語国際センター 人材派遣契約

委員：参加各社をA~Cにランク付けする由だが、どのように優劣をつけるのか。評価の難しい項目もあるのではないか。

基金：評価基準は公告の段階で明らかにしており、これにしたがって各評価者が採点し、後にこれをまとめる。定性的な項目は評価が難しい面もあり、提案書の作り方や、過去に派遣実績のある業者であればその対応振りなども評価の参考にしている。

カ 不動産（職員宿舎：三ツ沢ハイタウン1-715号室）の売却契約

委員：（落札価格がかなり予定価格を上回っているが、）予定価格は適正か。

基金：2名の不動産鑑定士の鑑定結果に基づくので、適正であると考えている。市場流通性のある物件であったため、予定価格よりかなり高額で落札されたのではないか。

委員：郵送入札の場合は、開札の公正さを保つことが重要であるが、本件では、開札に入札参加者が立ち会えるようにしてあったということであるので、その点は何らかの形で記録に残しておいたほうが良いのではないか。

（3）来年度以降の開催について

平成24年度第3回の委員会で、来年度は開催回数を3回とする方向で検討することが決まっていたが、時期は平成24年7月（対象案件は4～5月）、12月（6～10月）、平成25年3月（平成24年11月～平成25年3月）とすることで、委員の了承を得た。

以上

契約監視委員会(平成23年度第4回) 案件一覧

No.	契約名称及び内容	契約の相手方	契約方法	契約金額
1	『日本アニメ・フェスティバル in 北京』実施業務委託契約	特定非営利活動法人 映像産業振興機構(VIPO)	随意契約	11,100,828 円
2	NHK インターナショナル・ライブラリー番組国際版の提供に関する契約	日本放送協会	随意契約	(単価契約)
3	『東北民俗芸能、鬼太鼓座(おんでござ)と仲間たち世界巡回公演』渡航契約	株式会社エムオーツーリスト CIS ロシア・センター	随意契約 (入札不調)	25,161,301 円
4	日本語国際センター 食堂什器備品の購入契約	株式会社リッショー	一般競争	5,460,000 円
5	本部及び日本語国際センター 人材派遣契約	株式会社アヴァンティスタッフ	一般競争	(単価契約)
6	不動産(職員宿舎:三ツ沢ハイタウン 1-715 号室)の売却契約	株式会社クレステート	一般競争	6,500,000 円